

ピアランゴ (ピアノ & チャランゴ) 仙台公演 & ワークショップ

ピアランゴ

アルゼンチン フェスタ

アルゼンチンの音楽、食、文化を一緒に楽しみませんか



Patricio Zeoli

Jose Hernan Cibils

チャランゴとは、南アメリカ、アンデス地方の小型ギター。ボリビア、ペルー、アルゼンチン北部などでみられる。17世紀ころスペインから移入されたギターの種類が起源で、共鳴胴の裏板は木製のこともあるが、小動物アルマジロの甲羅を用いたものが多い。

主催：Rincon Argentino (リンコン アルヘンティノ)

後援：アルゼンチン大使館
中南米音楽愛好会

協賛：ORTO & K
富山楽器店



助成：財団法人仙台国際交流協会
(財)未来の東北博覧会記念
国際交流基金



エンパナダ

マテ茶

ロコロ

日時

2010年5月3日 (月)

12:00 open

12:30 start ~15:00

場所

ORTO & K (オルト&ケー)
仙台市青葉区一番町4-5-13
(サンシャインビル3F)

前売券 (食事付き)

大人3000円 15歳以下1500円

当日券 (食事付き)

大人3500円 15歳以下2000円

(食事はアルゼンチン料理)

お問い合わせ：

022-273-5686 リリアナ

022-263-2122 西大條 (ニシオエダ)

PIARANGO



Jose Hernan Cibils (ホセ エルナン シビルズ) / ピアノ
 1948年3月18日にアルゼンチンで生まれる。ブエノスアイレス・カトリック大学でオーケストラの指揮と作曲を学ぶ。その後ドイツに渡り、ベルリン”ハンスアイスラー”音楽院で研究を続けた。シビルズは、現代音楽の作曲家であるが、多彩なジャンルの曲も手がけ、その地位を確立している。彼の最近の作品は、膨大なアルゼンチンの音楽からインスピレーションを得て作曲されたもので、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団のコントラバス六重奏団により東京で初演された。



Patricio Zeoli (パトリシオ ゼオリ) / チャランゴ
 1953年1月20日にアルゼンチンで有名な音楽家一家に生まれる。アイルランドで育ち、現在はドイツに住んでいる。この多面的な背景は彼の芸術の発展に大きな影響を与えている。セオリは、クラシックギターを主として世界の各国で演奏しており、ヨーロッパの多くの主要なギターフェスティバルで定期的にマスタークラスを担当している。エストニアのタルトゥ大学や、ベルリンのレオケステンベルグ音楽学校で教鞭をとっている。さらに10代からチャランゴにも親しみ、1999年からは専門家として活動を始め、ポリビアのポトシで行われるチャランゴ国際会議にも参加している。

ゲスト出演



渡辺 公章 (わたなべ きみあき) / バンドネオン
 山形県出身。6歳の時より矢野吉晴氏の下でピアノを学ぶ。大学在学中フランスに留学し、パリ公立音楽院にてピアノを学ぶ一方、アルゼンチン出身のバンドネオン奏者ファン・ホセ・モサリーニ氏に師事し、ジュヌビリエ地方国立音楽院にてバンドネオンを学ぶ。大学卒業後、東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程に進み、同過程を修了。その後コンサート制作会社に勤務し、クラシックのコンサートの企画制作、テレビ番組の音楽制作に携わる。現在、仙台と東京を中心にピアノとバンドネオンの演奏活動とレッスンを行っている。また、フランス音楽の紹介、日仏間の音楽家・芸術家の交流を目的とするNPO法人「日仏楽友協会 (AFJAM)」のプロデューサーとして企画・広報を担当している。

★Piarangoとは何ですか？

Piarangoは”ピアノ”と”チャランゴ”を一つにした造語で、言葉遊びだけではなく、語感や響きが良いため名づけられた。ヨーロッパ音楽のシンボルであるピアノと、南アメリカのアンデス高原の小さな弦楽器チャランゴのデュオである。

www.piarango.com — www.myspace.com/piarango — www.facebook.com/piarango

文化交流 食 locro: いろいろな肉と豆類(白いうもろこしと豆インゲン)と野菜の煮込み。
 empanada: 焼き & 揚げパイ、牛肉か鶏肉が入っている。

文化 マテ茶を友人と一緒に飲むのが一つの文化である。

歴史 1810年5月25日はアルゼンチンの革命の日である。



会場の様子